

# ほたるパーク周辺開発事業 町民説明会 @大島山区

## 会議記録

日 時 令和4年8月19日(金) 19:30～ 大島山区民会館

出席者 参加者 32名

町 壬生町長・三沢建設課長・岩崎建設課課長補佐・宮内係長  
・教委久保田課長補佐・主査高田

---

以下、会議内容

---

### 【区長あいさつ】

#### 大島山区長 佐藤 清志 様

今日は区の役員の方、また一般の方の出席となっている。まずほたるパークの説明があり、そのあと区の協議会と防災訓練についてとなる。

### 壬生 町長

ほたるパークを芝生化、また旧ダイエーパチンコをクラブハウスとしていくご提案をさせていただく。

ここに至る経過として、長野県サッカー協会から4,5年前に、南信地区にサッカーコートがないという話があったのがスタート。かわまちづくりの計画地にサッカー場を組み込めないかというお話があり、町としてもカヌーやビーチバレーコートなどのスポーツ施設を予定していることから、一緒に設置することができるか検討したが、大きさの問題や、国と町の土地の持ち分の割合など、いろんな点でここにサッカー場を入れるのは難しい状況だった。いったんお断りし、他の場所で検討してほしいとの話もあったが、いろんな事情から山吹区に、ほたるパークを改修し、閉店するパチンコ店をクラブハウスに利用できないかというのをご相談し現在に至るという状況。

お金のかかる話でもある、ぜひご意見をお聞きし今後の参考にしたい。

### 【資料説明】

#### 事務局

## 【意見交換】

### ■参加者

松本山雅を共同検討者として進めるということだが、松本山雅の練習場としての設定は考えていないのか。

### ⇒事務局

松本山雅の本体ではなく、松本山雅に関係する一般社団法人。松本山雅のチームの練習拠点はあくまで松本市。山雅の皆さんと連携した教室などは可能と思われる。南信の少年チームの練習には使用されると思われるが、シニア以上のチームの練習は松本市で行われると思われる。

### ■参加者

人工芝をプロは使わないと聞いているので中途半端にならないように。

### ⇒事務局

松本山雅トップチームは練習しているのは松本市かりがねサッカー場天然芝コートなど。プロチームの使用より、地域の中学生や高校生の試合など、地域のチームに利用してもらえる。また、この地域の方々が松本市などまで行かなくても大会開催ができることも視野に入れている。

### ■参加者

せっかくの施設なので、多目的広場なども町民が使いやすいようなものにしてほしい。管理は民間業者なるとのことだが、町民の利用への優遇などはあるのか気になる。

### ⇒事務局

基本的には町の施設なので、町の利用予約が一番優先になる。なので利用したいという皆さんができるだけ利用できる形というのを最優先で考えたい。一般的にサッカー場は時間利用料がかかるが、出来るだけ町民の皆さんには負担にならないように考えていきたい。

## ■参加者

マイナス思考だが、総事業費が10億7千万円、地方債と一般会計で約6億円。他地区の議事録では毎年400万円の赤字想定とあった。ここまで話が進んでいるとは知らなかったが、どうしてそういう形であるのにすでに決定のように進んでいるのかと疑問を感じる。山吹区と下市田区の説明会議事録が公開されているが、私の主観では意見が32件あり、そのうち賛成が2件、反対が18件、要望が12件と解釈した。この状況で本当に町民が受け入れられるのか。

箱モノを作るとなると蘭植物園が思い出される。蘭植物園の事もあるのでしっかり精査して事業を進めていただきたい。

率直に言えば、町民のためになるならいいと思う。全額補助金で町民の負担がなければ問題ない。だが6億円を町民が負担することになるならば、それなりに理解を得ていく必要があるのではないかと。人口1万人として一人当たり6万円になる。私であれば5人家族なので30万円。そう聞くと、本当にサッカー場が必要なのかと考えてしまう人もいる。

意見を聞きたいというのが、まだ実施を含めて検討事項の案件ということでもいいのか。これは決定事項で進んでいくということでもいいのか。

## ⇒事務局

事業の決定していく過程においては、予算案を議会に認めていただくということも含めて手続きしていく必要があると考えている。そういう意味では、クラブハウスの関係と、土地購入した予算についてはお認めいただいて執行しているが、サッカー場については予算が可決したわけではないので、これから皆さんのご意見をお聞きし反映していくものを作っていくことになると考えている。

決定したものかどうかという点について、町としては、コロナ禍でいろんな説明会をうまく説明できなかつたかもしれないが、全町向けの説明会を重ねてきた結果として、概ねのご理解を得ていると判断している。私自身も子どもたちやお子さんがある保護者の方々など、多くの方々との懇談でお聞きしている中では、こういった施設があれば将来にわたってうまく有効活用できるというお声をいただいているので決断させていただいている。

事業費について、地方債およそ3億8千万円については返済時に一部国の補助が入るので、町が負担するのは一般財源分と地方債の補助金以外の分になる。町の現在の借入れは60億円程度あるが、それも同様に返済時に一部補助をいただける。

これが将来にわたって必要な施設なのか、町民の負担が厳しいのではないかと、また蘭植物園と同じようになってしまうのではという点について、まずこの施設は町

民体育館や町民グラウンドなどと同じ社会体育施設と同じ位置づけと思っている。そこを利用する人、利用しない人とさまざまになる。外でスポーツをする子たちに対し、利用する場所がないという状況から、きちんと環境を整えていくのが行政の役割。体育館はあるが人工芝ピッチはないということにならないよう、町としてこの部分の整備をしていきたい。

そういった部分への投資額として妥当なのかという点について議論はあると思うが、町としては妥当だと判断し説明会を開催している。

財政状況について、蘭植物園を作ったころとは状況が全く異なっていて、財政を立て直し、おかげさまで現在は昔のように県内で1位2位を争う状況ではなくなっている。将来に向けて必要な投資をしていくべきと判断させていただいている。

ランニングコストについて、利用料をきちんととればある程度回収できると思っている。ただ、町民の皆さんが他の社会体育施設を利用するのと同様の条件を整えるとすれば、毎年の支出は出てくる。もしこの施設では利用料をとると判断をさせていただいたときは、他の社会体育施設も同様の判断をしていくことになると思うのでご理解をお願いしたい。

## **壬生 町長**

貴重なお時間をいただきありがとうございました。こういった説明会を開催すると、どうしても賛成の方にはお見えいただけず、反対の方がお越しになるという傾向があるので、議事録では意見は反対の意見が多いという状況になる。町はこういった説明会だけでなく、いろんな方々と懇談させていただいて、その結果として資料をお示しさせていただいている。なかなかこういった場に来られずに意見を言えない方もいるという現状にもご理解いただき、いろんな皆さんが使いやすい施設として活用できるような形で計画して参りたいと思いますのでご理解とご協力をお願いします。